

# 5種混合ワクチンの接種について

## ◆5種混合について◆

混合ワクチンとは、複数のワクチンがはじめから1本の注射液に混合して含まれているものです。日本ではこれまで、百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオの4種混合ワクチンが使用され、ヒブワクチンは4種混合ワクチンとは別に接種されてきました。従来の4種混合ワクチンにヒブワクチンを加えたものが、5種混合ワクチンです。

## ◆百日せきとは◆

風邪のような症状ではじまり、徐々に咳がひどくなり顔を真っ赤にして連続的にせき込むようになります。コンコンと激しくせき込んだ後に、息を吸うときにヒューという笛のような音を立てる特有の咳が出ます。この咳は連続性・発作性となり数週間にわたって続きます。咳が原因で眠れなかったり、顔が腫れることもあります。年齢が低いほど症状は重く、無呼吸発作やけいれんを起こすこともあります。

## ◆ジフテリアとは◆

のどや鼻にジフテリア菌が感染し、発熱、嘔吐、のどの痛み、犬吠え様の咳などの症状が出ます。偽膜と呼ばれる膜がのどにでき、窒息して亡くなることもあります。ジフテリア菌に感染すると、10%程度の方が亡くなるといわれています。特に5歳以下や40歳以上の場合は重症化しやすく、最大で20%の方が亡くなるといわれています。

## ◆破傷風とは◆

土壌中の破傷風菌が傷口から体内に入ることによって感染します。破傷風毒素により神経麻痺、筋肉の激しいけいれんや呼吸困難などを起こします。口が開きにくい、首の硬直などの症状にはじまり、嚥下障害や排尿・排便の障害などを経て、最後に全身の筋肉が硬くなって体が弓のように反り返ったり、息ができなくなるなど、亡くなることもあります。

## ◆ポリオとは◆

「小児麻痺」とも呼ばれ、四肢に麻痺を起こします。日本では高いワクチン接種率により自然感染による患者発生はありませんが、ポリオウイルスがいつ海外から入ってくるかわかりません。ポリオウイルスが人の口から入ることで感染します。腸内で増えたポリオウイルスは、再び便の中に排泄され、この便を介してさらに他の人に感染します。90～95%は、感染しても病気としての明らかな症状は現れず、麻痺症状が出るのは0.1～2%ですが、麻痺が起こると生涯続く場合があります。

## ◆ヒブ感染症とは◆

インフルエンザ菌の中でb型の莢膜をもつ細菌（ヒブ）による感染症で、髄膜炎や敗血症などの重い病気を起こすことがあります。ほとんどが乳幼児で発生しますので、注意が必要です。インフルエンザ菌は、のどや鼻の奥にいる身近な細菌で、主にくしゃみや咳などから感染し、肺炎などの病気を起こします。インフルエンザ菌の中で、ヒブは血液中に入り込みやすく、重い感染症をひき起こします。死亡率は3～6%で、特に髄膜炎の場合は、生存した子どもの20%に発達の遅れや難聴などの後遺症を残すといわれています。

## ◆ワクチンの特徴と副反応◆

百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオ（急性灰白髄炎）およびインフルエンザ菌b型による感染症を予防する効果が期待できます。副反応としては、注射部位の症状として紅斑、硬結（しこり）、腫脹（はれ）、疼痛など、全身症状として発熱などがあらわれるほか、食欲減退、過眠症、気分変化、泣き、不眠症などがあらわれることがあります。非常にまれですが、重大な副反応として（1）ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）、（2）血小板減少性紫斑病（接種後数日から3週間ごろにあらわれる紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血など）、（3）脳症（発熱、四肢麻痺、けいれん、意識障害など）、（4）けいれん（接種直後から数日ごろまで）があらわれることがあります。なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

## ◆予防接種を受けることができない人◆

- ①明らかに発熱のある人（37.5℃を超える人）
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③過去に5種混合ワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前に医師にその旨を伝え、判断を仰いでください）
- ④その他、医師が予防接種を受ける事が不適当だと判断した人

## ◆予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない人◆

- ①発育が遅く、医師や保健師の指導を継続して受けている人
- ②カゼなどのひきはじめと思われる人
- ③心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある人
- ④予防接種を受けたときに、接種後2日以内に発熱、発しん、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ⑤今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑥過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑦5種混合ワクチンの成分に対してアレルギーを起こす可能性のある人

◆**予防接種を受けた後の注意**◆

- ①接種後30分間は医療機関にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあれば医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ②接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこするようなことはやめましょう。
- ③接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつもの生活をしましょう。また、はげしい運動は避けましょう。
- ④高熱やいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。

